

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年5月20日
【四半期会計期間】	第29期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 大久保 秀夫
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03（3498）1541（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

複数の当社社員による過年度にわたる商品等の不正流用が判明したため、当該内容につき調査した結果、売上原価及び販売費及び一般管理費の過大計上が判明いたしましたので連結財務諸表及び財務諸表の記載内容の見直しを行いました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の四半期連結損益計算書においては、売上原価7,983千円の減少、営業外費用8,382千円の増加により税金等調整前当四半期純損益が399千円、当四半期純損益が399千円それぞれ減少しました。四半期連結貸借対照表においては、未払消費税が399千円増加しました。

これらを訂正するため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

なお、訂正後の当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表につきましては、監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態及び経営成績の分析

(1) 経営成績の分析

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正後)

回次	第29期 第3四半期 連結累計期間	第29期 第3四半期 連結会計期間	第28期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(百万円)	25,640	8,035	34,323
経常損失()(百万円)	<u>60</u>	164	<u>1,264</u>
四半期(当期)純損失() (百万円)	<u>414</u>	<u>418</u>	<u>532</u>
純資産額(百万円)	-	<u>5,877</u>	<u>7,178</u>
総資産額(百万円)	-	15,621	17,890
1株当たり純資産額(円)	-	<u>388.90</u>	<u>481.98</u>
1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	<u>30.12</u>	<u>30.37</u>	<u>38.66</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	<u>34.3</u>	37.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	911	-	321
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	36	-	367
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	683	-	1,152
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	2,745	2,554
従業員数(人)	-	1,046	987

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失が計上されているため記載しておりません。

第2【事業の状況】

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正後)

(前略)

この結果、当第3四半期連結会計期間における連結業績は、売上高は8,035百万円となりました。利益面では、引き続き固定費の圧縮に取り組んだことで販売費及び一般管理費が376百万円減少しましたが、営業損失は134百万円、経常損失は164百万円となり、有価証券の評価減による投資有価証券評価損や保有する営業権の回収期間が長期化することによる減損損失等により四半期純損失は418百万円となりました。

(後略)

(2) 財政状態の分析

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,268百万円減少し15,621百万円となりました。

主な内容は、受取手形及び売掛金や未収入金が減少したことを主因に流動資産が前連結会計年度末に比べ1,210百万円減少し、投資有価証券の時価下落に伴う減少を主因として固定資産が前連結会計年度末に比べ1,058百万円減少しました。

流動負債は支払手形及び買掛金が減少したことを主因に前連結会計年度末に比べ1,045百万円減少し、固定負債は前連結会計年度末に比べ77百万円増加しております。

また、純資産は投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金が減少したことを主因に前連結会計年度末に比べ1,300百万円減少し5,877百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正後)

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は182百万円でした。これは主に、売上債権の減少額284百万円、減価償却費123百万円、たな卸資産の減少額87百万円等の増加要因に対して、営業損失が134百万円であったことに加え、仕入債務の減少額284百万円等の減少要因によるものです。

(後略)

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,762,696	2,573,110
受取手形及び売掛金	3 3,880,854	4,666,768
商品及び製品	310,084	398,671
仕掛品	102,696	8,148
原材料及び貯蔵品	67,721	94,650
その他	1,358,418	1,969,058
貸倒引当金	49,232	66,343
流動資産合計	8,433,239	9,644,064
固定資産		
有形固定資産	1 1,120,778	1 1,179,436
無形固定資産		
のれん	1,259,811	1,044,590
その他	999,953	1,374,571
無形固定資産合計	2,259,764	2,419,162
投資その他の資産		
投資有価証券	2 1,983,241	2 3,426,601
その他	2,218,251	1,563,865
貸倒引当金	366,258	252,668
投資損失引当金	27,490	89,966
投資その他の資産合計	3,807,744	4,647,832
固定資産合計	7,188,287	8,246,431
繰延資産	50	66
資産合計	15,621,577	17,890,562

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,184,314	4,088,974
短期借入金	2,279,674	2,283,475
未払法人税等	41,359	88,527
役員賞与引当金	10,500	14,000
その他	<u>2,093,505</u>	<u>2,138,292</u>
流動負債合計	<u>8,122,354</u>	<u>9,168,270</u>
固定負債		
長期借入金	175,046	184,886
退職給付引当金	1,264,337	1,201,388
その他	182,468	157,931
固定負債合計	1,621,852	1,544,206
負債合計	<u>9,744,206</u>	<u>10,712,476</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	4,014,294	4,014,294
利益剰余金	<u>3,160,533</u>	<u>2,573,963</u>
自己株式	62,375	62,352
株主資本合計	<u>4,941,680</u>	<u>5,528,274</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	411,233	1,043,227
為替換算調整勘定	-	62,681
評価・換算差額等合計	411,233	1,105,908
少数株主持分	524,457	543,903
純資産合計	<u>5,877,371</u>	<u>7,178,086</u>
負債純資産合計	15,621,577	17,890,562

(2) 【四半期連結損益計算書】

(訂正後)

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

売上高	25,640,795
売上原価	<u>18,982,246</u>
売上総利益	<u>6,658,549</u>
販売費及び一般管理費	6,651,157
営業利益	<u>7,391</u>
営業外収益	
受取利息	12,394
受取配当金	7,594
保険配当金	9,725
その他	23,057
営業外収益合計	52,771
営業外費用	
支払利息	41,881
持分法による投資損失	7,237
投資事業組合運用損	31,461
不正流用損失	<u>30,856</u>
その他	<u>9,011</u>
営業外費用合計	<u>120,448</u>
経常損失()	<u>60,284</u>
特別利益	
投資有価証券売却益	81,175
固定資産売却益	120,000
子会社清算益	68,152
その他	11,256
特別利益合計	280,585
特別損失	
固定資産除売却損	28,905
投資有価証券評価損	258,022
貸倒引当金繰入額	161,500
減損損失	250,432
その他	63,581
特別損失合計	762,442
税金等調整前四半期純損失()	<u>542,141</u>
法人税、住民税及び事業税	29,534
法人税等調整額	192,070
法人税等合計	162,536
少数株主利益	34,909
四半期純損失()	<u>414,514</u>

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(自平成20年10月1日
至平成20年12月31日)

売上高	8,035,011
売上原価	<u>5,980,525</u>
売上総利益	<u>2,054,486</u>
販売費及び一般管理費	2,189,420
営業損失()	<u>134,933</u>
営業外収益	
受取利息	3,495
受取配当金	749
保険配当金	2,306
その他	4,339
営業外収益合計	10,890
営業外費用	
支払利息	12,253
持分法による投資損失	2,038
投資事業組合運用損	15,534
不正流用損失	<u>7,983</u>
その他	<u>2,928</u>
営業外費用合計	<u>40,738</u>
経常損失()	<u>164,781</u>
特別利益	
未払債務清算益	341
特別利益合計	341
特別損失	
投資有価証券評価損	134,780
減損損失	119,000
その他	2,820
特別損失合計	256,601
税金等調整前四半期純損失()	<u>421,041</u>
法人税、住民税及び事業税	7,516
法人税等調整額	29,457
法人税等合計	21,941
少数株主利益	18,944
四半期純損失()	<u>418,044</u>

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正後)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純損失()	542,141
減価償却費	375,945
のれん償却額	126,998
貸倒引当金の増減額(は減少)	208,172
退職給付引当金の増減額(は減少)	64,410
受取利息及び受取配当金	19,989
支払利息	41,881
持分法による投資損益(は益)	7,237
投資有価証券売却損益(は益)	78,078
固定資産除売却損益(は益)	91,094
減損損失	250,432
投資有価証券評価損益(は益)	258,022
売上債権の増減額(は増加)	1,018,686
たな卸資産の増減額(は増加)	48,693
仕入債務の増減額(は減少)	971,734
その他	320,349
小計	1,017,793
利息及び配当金の受取額	18,917
利息の支払額	49,161
法人税等の支払額	75,986
営業活動によるキャッシュ・フロー (後略)	911,563

【注記事項】

(セグメント情報)

(訂正後)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,292,191	5,742,820	8,035,011	-	8,035,011
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	18,474	21,367	39,841	(39,841)	-
計	2,310,665	5,764,187	8,074,853	(39,841)	8,035,011
営業利益又は営業損失()	<u>156,632</u>	21,698	<u>134,933</u>	-	<u>134,933</u>

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,441,073	18,199,721	25,640,795	-	25,640,795
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	109,823	86,570	196,393	(196,393)	-
計	7,550,897	18,286,292	25,837,189	(196,393)	25,640,795
営業利益又は営業損失()	<u>33,509</u>	<u>40,901</u>	<u>7,391</u>	-	<u>7,391</u>

(後略)

(1株当たり情報)

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 388.90円	1株当たり純資産額 481.98円

2. 1株当たり四半期純損失金額

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額() 30.12円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額() 30.37円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失()(千円)	414,514	418,044
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	414,514	418,044
期中平均株式数(千株)	13,764	13,764
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年5月18日

株式会社フォーバル
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高橋正伸印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 東 葎 新 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

「第5 経理の状況 2. 監査証明について」に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。